

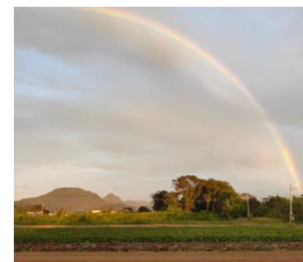
## <基本情報>

所在地：大分県豊後高田市



## <農場概要>

- 面積：2.2ha（すべて有機JAS取得）
- 従業員：2名
- 栽培品目：野菜4品目



## <有機農業に取り組むきっかけ>

- 代表は北海道出身。20年以上関東地方で勤務していたが、田舎での落ち着いた生活を求め移住を検討。
- 豊後高田市は移住対策や子育て支援に積極的で旅費や家賃の支援もあり、のどかな風景と趣味の温泉も近場にあったことが決め手。
- 無農薬で家庭菜園をしていた経験から、自然と有機農業を選択。
- 世界農業遺産である国東半島の気候を利用した栽培に取り組む。

## <販売について>

- 販売の際の差別化や有利販売のために、全ほ場で有機JAS認証を取得。慣行栽培より高めの価格設定で販売できている。
- 就農当初は少量多品目で栽培していたが、栽培計画がうまくできずに出荷が重なり廃棄した経験から、現在は4品目（じゃがいも、にんじん、さつまいも、オクラ）に絞り込んでいる。
- 根菜類は葉物野菜に比べて出荷調整や栽培のスケジュール管理がしやすいので、大ロット・安定供給を目指す方向にシフト。
- 仲卸業者を通してイオンのオーガニックブランド「グリーンアイオーガニック」にも出荷。市内の学校給食にも提供。



## <農福連携について>

- 近隣の福祉事業所へにんじんの収穫作業を委託。当初は一緒に作業していたが、現在は作業を分担して任せている。

## <病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 土づくりには堆肥と緑肥を組み合わせて投入。
- 土壌分析を行い適切な施肥栽培を心掛けている。
- アミノ酸系肥料や海藻ミネラル系資材も肥料として活用することで、大ロット出荷でも食味や栄養価、棚持ちの向上を図っている。
- 管理機での畝間除草やサブソイラーを使った土壌の保水性や養分保持力の改善に取り組んでいる。

## <苦労しているところ>

- にんじんの団地化などで面積を広げ、経営規模の拡大を図りたいが、当市は白ねぎ産地のため条件の良いほ場は白ねぎが優先されてしまう。（R8年に森林を開墾して面積を拡大予定。）
- 堆肥を使う生産者が増えたことで、堆肥の取り合いになっている状況。質の良い堆肥の確保が課題。

## <今後の展開>

- 有機農業を始めたい地域の新規就農者に、自身の経験やノウハウを共有し、後進の育成に貢献したい。
- 「美味しさ」や「二酸化炭素の排出量削減」など有機栽培のメリットを客観的根拠で示して販売につなげたい。

